



JASDAQ

平成 19 年 8 月 6 日

各 位

会 社 名 東 新 住 建 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 深 川 堅 治
(J A S D A Q ・ コ ー ド 1 7 5 4)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 常 務 取 締 役 中 島 義 之
經 営 推 進 本 部 長
電 話 0 5 8 7 - 2 3 - 0 0 1 1

平成 1 9 年 6 月 通 期 (連 結 ・ 個 別) 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 1 9 年 6 月 期 (平成 18 年 7 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日) の業績予想につきまして、平成 19 年 6 月 22 日付
当社「平成 19 年 6 月 期 通 期 (連 結 ・ 個 別) 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ」 に て 発 表 い た し ま し た 業
績 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 い た し ま す。

記

1 . 平 成 1 9 年 6 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 1 8 年 7 月 1 日 ~ 平 成 1 9 年 6 月 3 0 日) (単 位 : 百 万 円 、 %)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	1 0 2 , 0 0 0	9 2 0	5 0
今 回 修 正 予 想 (B)	1 0 4 , 4 6 7	9 5 4	2 6 7
増 減 額 (B - A)	2 , 4 6 7	3 4	2 1 7
増 減 率 (%)	2 . 4 %	3 . 7 %	4 3 4 . 0 %
(ご 参 考) 前 期 実 績 (平 成 1 8 年 6 月 期)	9 0 , 8 5 7	1 , 2 5 5	1 4 7

2 . 平 成 1 9 年 6 月 期 通 期 個 別 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 1 8 年 7 月 1 日 ~ 平 成 1 9 年 6 月 3 0 日) (単 位 : 百 万 円 、 %)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	9 4 , 2 0 0	1 , 3 2 0	4 5 0
今 回 修 正 予 想 (B)	9 4 , 9 8 8	1 , 1 5 9	4 2 5
増 減 額 (B - A)	7 8 8	1 6 1	2 5
増 減 率 (%)	0 . 8 %	1 2 . 2 %	5 . 6 %
(ご 参 考) 前 期 実 績 (平 成 1 8 年 6 月 期)	8 4 , 8 4 1	1 , 3 6 8	1 1 0

3. 修正の理由

(連結)

売上高につきましては、6月度における天候の影響も少なく、物件の完成引渡しが順調に推移したことおよび連結決算手続を精査いたしました結果、前回予想を24億67百万円上回り、1,044億67百万円となる見通しであります。

経常利益につきましては、個別における減少はありましたが、売上高が増加したことにより、前回予想を34百万円上回り、9億54百万円となる見通しであります。

当期純利益につきましては、子会社カメヤグローバルにおける自社所有不動産の売却益33百万円があったこと、前回発表予想での連結当期純利益の予想において前年実績率を基準として、当期純利益を見通しておりましたが、連結決算手続において精査いたしました結果、前回予想を2億17百万円上回り2億67百万円となる見通しであります。

(個別)

売上高につきましては、6月度における天候の影響も少なく、物件の完成引渡しが順調に推移いたしました結果、前回見通しを7億88百万円上回り949億88百万円となる見通しであります。

経常利益につきましては、売上高が増加いたしました。アフターサービス費用の増加による完成工事補償引当金の積み増し、外販業者への販売手数料が見通しを上回ったことなどにより、前回予想を1億61百万円下回り、11億59百万円となる見通しであります。

当期純利益につきましては、経常利益の減少および法人税等の計算を精査いたしました結果、前回予想を25百万円下回り4億25百万円となる見通しであります。

以 上